

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公開番号】特開 2016-165641 (P2016-165641A)

【公開日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2016-055

【出願番号】特願 2016-124690 (P2016-124690)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 3 日 (2017.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動領域に対する遊技球の通過状態に応じたレベルの信号を出力するスイッチ手段と、
前記スイッチ手段により出力される信号に基づいて、予め定められた間隔で繰り返し実行される反復処理により、前記始動領域を遊技球が通過したか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により前記始動領域を遊技球が通過したことが判定された場合、遊技情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された遊技情報に基づいて、特別遊技を行うか否かを判定する特別遊技判定手段と、

前記特別遊技判定手段により特別遊技を実行すると判定された場合、当該特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

前記特別遊技の実行中に特別遊技演出を行う特別遊技演出制御手段とを備え、

前記特別遊技演出制御手段は、前記特別遊技演出のオープニングでオープニング演出を行うオープニング演出制御手段を有し、

前記判定手段は、

前記スイッチ手段により出力された信号のレベルが所定の閾値レベルよりも第 1 方向に位置すると判定する第 1 判定、又は、当該信号のレベルが当該所定の閾値レベルまたは当該所定の閾値レベルよりも前記第 1 方向と反対の第 2 方向に位置すると判定する第 2 判定を行う信号レベル判定手段と、

第 n (n は自然数) 回目の反復処理における 1 回の前記第 1 判定が行われてから第 n + 1 回目の反復処理において前記第 2 判定が行われると、当該第 n + 1 回目の反復処理において更に判定が行われ、当該判定が前記第 2 判定である場合に、前記始動領域を遊技球が通過したと判定する通過判定手段とを有する、遊技機。

【請求項 2】

遊技者の操作を受け付ける操作手段を備え、

前記特別遊技演出制御手段は、前記操作手段により受け付けられた操作に応じて、前記オープニング演出制御手段により実行される前記オープニング演出の種類を予め設定する設定制御手段を有する、請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記オープニング演出制御手段は、特定の前記特別遊技の特別遊技演出のオープニング演出では、前記設定制御手段により予め設定されたオープニング演出の種類に関わらず、特定のオープニング演出を行う、請求項 2 に記載の遊技機。